



主な研究活動

(2006年6月～8月実施分)

研究推進会議

- 第4回 6月28日・海外提携研究機関への派遣若手研究者選考と派遣期間の変更、および訪問研究員受け入れ、第2回COE国際シンポジウムについて 他
- 第5回 7月28日・外部評価書への対応案、本プログラムの最終研究成果取りまとめ、班・課題班のデータベース構築及び印刷物等の刊行計画について 他

全体会議

- 第2回 6月30日・COE教員人事、COEプログラムの最終研究成果取りまとめ、COE終了後の事業継承・発展計画について 他

研究会

全 体

- 第1回 4月21日・各班からの昨年度研究成果報告
- 第2回 6月30日・孫 安石・富井 正憲・大里 浩秋 「租界と居留地に刻印された人間活動の営み」
・津田 良樹・中島 三千男 「環境に刻印された人間活動の痕跡解読 朝鮮の神社跡地を中心に」

班(課題)

* 課題名の表記は略称です

- 6月14日・3班「人間活動と災害の痕跡解読」 会議
- 6月16日・6班「理論総括研究」 廣田 律子 「モーションキャプチャを使った芸能の記録化及び比較研究の試み」
- 6月21日・1班「マルチ言語版『絵引』編纂」 校閲作業
・5班「実験展示」 青木 俊也 「身体の記憶 非文字資料の世界」 展示構想案
- 6月24日・1班「『近世・近代生活絵引』編纂」 研究会
- 6月26日・1班「『東アジア生活絵引』編纂」 研究会
三山 陵(日本民藝館共同研究員) 「中国民間版画に見る庶民生活 清末民国初期を中心に」
- 7月 5日・1班「マルチ言語版『絵引』編纂」 校閲作業
- 7月 8日・3班「人間活動と災害の痕跡解読」・科研「東アジアメディア産業研究」共催 「『音』という非文字資料を考える」
野村 優夫(NHK・日本放送協会アナウンサー) 「満州国ラジオ録音盤の発見について 『音』という非文字資料」
- 7月12日・5班「実験展示」 会議
- 7月14日・6班「理論総括研究」・4班「地域統合情報発信」 合同会議 F・ルシーニュ 「只見町研究調査」
- 7月21日・1班公開研究会 藤原 重雄(東京大学史料編纂所)
「『絵巻物による日本常民生活絵引』と中世史研究 『絵引』の遺産継承の観点から」
- 7月22日・1班「『東アジア生活絵引』編纂」 研究会(本誌26頁参照)
武田 雅哉(北海道大学文学部教授) 「楊貴妃になりたかった男たち 『点石齋画報』に見る<女装くん>」
- 7月26日・5班「実験展示」 公開研究会 鷹野 光行(お茶の水女子大学教授) 「大学院における博物館学教育」
- 8月 8日・5班「実験展示」 公開研究会 渋谷フィルム(DVD)上映、会議
- 8月 9日・1班「『東アジア生活絵引』編纂」 会議
- 8月10日・3班「環境認識とその変遷」 研究会(講演会・報告会)(於:鶴見大学)
宗臺 秀明(鶴見大学・神奈川大学非常勤講師) 「鎌倉・前浜 職能民のいる風景」
(中間報告)河野 真知郎、鈴木 弘太(鶴見大学大学院博士後期)
「中世都市鎌倉の景観・環境を復原するための基礎データ収集」
- 8月17日・1班「『近世・近代生活絵引』編纂」 研究会
- 8月28日・4班「地域統合情報発信」 公開研究会および班会議 佐々木 長生 「非文字資料としての会津農書」

現地調査

前田 禎彦	京都府京都市（6月1日～2日）
京都大学、京都国立博物館においてマルチ言語版『絵引』編纂発行のための追加調査	
河野 通明	長野県千曲市他（6月1日～4日）
長野県立歴史館他での在来農具の比較調査	
金 貞我	韓国 ソウル（6月7日～11日）
梨花女子大学博物館、国立中央博物館、国立民俗博物館他において『東アジア生活絵引』編纂資料の調査	
中村 ひろ子	福岡県福岡市（6月15日～16日）
九州産業大学において高度専門職学芸員養成プログラムのための調査	
河野 通明	山梨県笛吹市他（6月15日～18日）
山梨県立博物館他での在来農具の比較調査	
佐野 賢治、中村 政則、佐々木 長生、フレデリック・ルシーニュ	福島県南会津郡（6月21日～23日）
只見町教育委員会において只見町民俗行事のデジタルコンテンツ化事業の一環として、古老からのライフ・ヒストリーの聞き書き調査	
青木 俊也、中村 ひろ子	大阪府吹田市・奈良県奈良市（7月2日～3日）
吹田市立博物館、奈良大学における先進展示の視察調査および学芸員育成プログラム作成のための調査	
田上 繁	奈良県奈良市（7月3日）
奈良大学において、学芸員育成プログラム作成のための調査	
金 貞我	台湾 台北（7月5日～8日）
故宮博物院、台湾大学、中央研究院他において『東アジア生活絵引』編纂資料の調査	
橘川 俊忠	福島県南会津郡（7月30日～8月1日）
只見町教育委員会において、只見町撮影プロデュース	
福田 アジオ、北原 糸子	カナダ バンクーバー（8月4日～5日）
ブリティッシュコロンビア大学主催「Tokugawa Travel Workshop」への出席および研究発表	
中島 三千男、津田 良樹	中国東北部（旧満州国）（8月5日～14日）
旧満鉄沿線都市（瀋陽～四平）に建てられた神社跡地の調査第3班の3「人間活動と災害の痕跡解読」の事業のための調査	
山口 建治	福井県小浜市（8月17日～19日）
県立若狭歴史民俗資料館において、遠敷の民俗全般の調査	
大里 浩秋、富井 正憲	中国 上海（8月20日～26日）
上海市档案馆、上海市図書館、旧内外棉工場跡等において、プログラム中の一課程、旧租界の現状調査に関連する資料収集と現地調査	
河野 通明	韓国 麟蹄市、光州広域市他（8月22日～26日）
麟蹄山村民俗博物館、東津水利民俗博物館他において非文字資料の可能性をさぐるための日韓の農具の比較調査、および国際シンポジウム打合せ	



主な研究活動

金 貞我	韓国 ソウル、金堤市他（8月22日～31日）
中央博物館、民俗博物館、漢陽大学博物館、農業博物館（ソウル、金堤、木浦）において韓国編生活絵引関連資料調査	
福田 アジオ	韓国 ソウル（8月28日～31日）
延世大学博物館、国立民俗博物館、漢陽大学博物館等において、朝鮮編生活絵引関連資料調査、および利用申請・便宜供与の依頼	
北原 糸子	韓国 ソウル（8月28日～31日）
関東大震災関係写真データベース構築のため関連する資料所在地の現地調査	
香月 洋一郎	高知県長岡郡（8月28日～31日）
大豊町での「環境認識とその変遷」作業班の補足調査	

1班『東アジア生活絵引』編纂 公開研究会報告

2006年7月22日 於COE共同研究室

楊貴妃になりたかった男たち 『点石齋画報』に見る〈女装くん〉

講師：武田 雅哉（北海道大学文学部教授）

今回講師としてお招きした武田雅哉氏は、絵画資料をもとに「時代の精神」を読み解く仕事をことのほか得意としている。研究会では、清朝末期に発行されたかわら版『点石齋画報』に見られる女装、男装にまつわる事件を中心に話していただいた。

『点石齋画報』は当時の人々が実際に出くわした事件や、想像した外国の事物を驚異のまなざしをもって伝えた、清末社会の息吹を感じさせるすぐれた資料である。

「画報」という名前が物語る通り、事件を報道する文章ばかりでなく、実はそれに附された、というより堂々主役を張っている挿し絵（報道画）にも事件の真実を伝えるヒントが隠されており、「画報」を読む際には、読者の絵画を読み解くテクニックもまた要求されるわけである。

研究会ではその読み解きのテクニックを伝授していただいた。また関連するいくつかの現代アートについても解説していただいた。『点石齋画報』の伝えるスクランダラスな事件や現代アートは、われわれ1班が『東アジア生活絵引』を編む作業で資料として使っている「姑蘇繁華図」に描かれた善良で秩序ある世界とはおよそ対極をなすものである。しかし両者は我々がしばしば悩まされる「絵画と真実」という深いテーマで接点をもっている。図像の解読作業においては、ややもすればこの点を忘れがちになるが、今回の研究会は原点に立ち返るとともに、このテーマを反対側から眺めてみるいい機会となった。

佐々木 睦



武田雅哉氏を囲んで